

海老名災ボラ情報 No.8 2021年2月の定例会の報告

2021年2月15日発信、文責：海老名災ボランティアネットワーク代表・福田博
2021年2月14日（日）10時～11時、海老名災ボラの定例会（Zoom ミーティング方式）
Zoom ミーティング主催者：福田、Zoom 講習会 9時30分～10時10分、Zoom の使い方（基礎）
参加：永山、星野、石橋、三宅、松井、黒田、水本、嶋原やわた、田村英樹、山下（遅れ）計11名
★2月13日（土）午後11時8分頃、福島県沖でM7.3の地震が発生、宮城県・福島県で最大震度6強を観測。被災された方にお見舞い申し上げるとともに、私たちの「地震の備え」をチェックしよう。

【1】会計からの報告（松井会計） 2021年1月末時点での会計報告

- 1) 一般会計 2021年1月末日現在 357,894円（-3,892円）、（ ）内は12月末比
会員数：個人会員31名（±0）、賛助会員13名（±0）、団体会員3団体（±0）
- 2) 特別会計 23,540円（±0円、10月末比）

【2】活動報告 2021年1月1日～2月中旬

1) 1月～2月中旬まで

- ① 1月10日（日）10時～10時30分は海老名災ボラ主催のZoom の講習会として実施
定例会は10時30分～12時5分、Zoom で開催、（福田博主催のZoom ミーティング）
参加者：14名；野中、石橋、松井、永山、水本、三宅、嶋原やわた・義弘、吉野、鷺見、佐々木、石丸、田村和寿、田村英樹
- ② 1月23日（土）座間市社協主催「災害ボランティアセンター設置訓練」は中止。
- ③ 2月6日（土）13時30分～16時40分、内閣府主催「防災とボランティアのつどい」Zoom
パネルディスカッション：第1部、東日本大震災から10年、被災地の団体からの報告
第2部、コロナ禍における災害ボランティア活動～熊本の経験～、報告
海老名災ボラの参加者：福田（現地の団体の活動状況がよく分かった）
- ④ 2月10日（水）14時～海老名防災関係3者定例会（社協、危機管理、災ボラ）、総合福祉会館
・各団体の現況報告：災ボラは、1月10日に定例会をZoom で開催、神奈川災ボラの講演会等に参加
社協は、Zoom で2019年秋の台風19号で被災した相模原市社協、川崎市社協からの報告を聞いた。
危機管理課は、昨年秋にコロナ禍での避難所運営マニュアルを作成し、職員だけの訓練を実施した。
・2月16日に、海老名災害ボラセンターの設置予定場所（海老名市文化会館のロビー）を見て、ボラセンの各担当部署のレイアウト等を検討することになった。出席：社協、災ボラ（福田、星野9、危機管理課
- ⑤ 2月11日（木）「広域連携かながわ図上訓練」主催：広域連携かながわ図上訓練実行委員会 Zoom
開催時間：10時～12時30分、2019年の台風19号の被災者（相模原市、川崎市）からの報告
13時30分～16時30分、分科会（避難所）。福田が参加。各団体・個人の交流が目的の会議。
- ⑥ 2月14日（日）10時30分～12時：海老名災ボラ定例会をZoom で開催
2月定例会で下記の2021年度の役員（代表、副代表、会計、会計監査）候補が承認されました。
21年度役員候補：代表（石橋友晴）、副代表（星野隆一郎、三宅良子）、
会計（松井俊輔、小澤昌平）、会計監査（永山八郎、嶋原やわた）
上記の役員候補は、本人の了解を得て、福田（2020年度代表）が推薦しました。

【3】今後の予定 2021年2月中旬～4月

- 1) 2021年2月の予定 海老名市総合福祉会館は1月8日～3月7日まで休館

- ① 2月16日（火）海老名防災関係3者定例会、会場：海老名市文化会館ロビー
海老名市が大きな災害の被災地となった場合、海老名市文化会館、出席予定：福田、星野
- ② 2月22日（月）「海老名市地域防災計画の修正案」を書面議決で採決する、参加予定：三宅

2) 「新型コロナ禍での災害ボランティアセンターの設置・運営」に関する学習会・訓練等の開催

- ① 2月16日：「新型コロナ禍での災害ボランティアセンターの設置・運営」に関する「図上訓練」実施：
大規模災害時に文化会館（ロビー等）に災害ボランティアセンターが設置される予定で、文化会館のロビーと中庭を使って、受付、マッチング（帰着報告）、資機材などのレイアウトを設定します。今回は、コロナ関係があるので、少人数で実施する。出席予定：社協、災ボラ（福田、星野）、危機管理課
- ② 全社協及び他団体の資料を活用した学習会の開催：2021年3月を予定
全国社会福祉協議会から災害ボラセンターの設置・運営に関する資料を災ボラ会員に送信済（一部郵送）A4版で8頁もあるため、会員の皆さんにじっくり読んでもらい、3月に学習会を開催する。コロナ感染症が未だ収束していない場合は、Zoom ミーティングとして実施する。
- ③ 災害救援ボランティアセンター設置・運営の実地訓練：4月以降～主催：海老名市社協、協力。災ボラ
新型コロナ感染症拡大が沈静化した状況になれば、感染防止対策を実施した上で、文化会館を会場とした実施訓練を行う。人数は2月16日より増やし、文化会館の休館日に開催する。現在、日時は未定。

3) メーリングリストへの登録、災ボラ line グループへの参加、Zoom のインストール等の推進

- ① 海老名災ボラのメーリングリストに登録している会員：個人会員31名中・29名、賛助会員13名中・5名、団体会員3団体中・1団体という現状である（会員総数47名中の35名）。74%は登録済である。しかし、メールをほとんど読まない人が一定程度いるので、情報共有が不十分な問題を抱えている。
- ② 海老名災ボラ line グループへの招待：9月中旬以降に招待。災害時の連絡網として有効。最近の参加者は21名（個人会員、賛助会員、団体会員代表者）で会員総数47名の約45%である。
- ③ Zoom にアカウント登録した会員は19名で（40%）、多くの会員がZoom アカウント登録しZoom 体験で慣れることが必要。登録者と体験者を増やしていくことを今後も継続する。
- ④ Zoom ミーティングの費用負担について：結論として、次の内容に決まった。
Zoom の有料アカウント「プロ」を持つ個人のZoom アカウントを提供してもらう。何回・何時間・様々な団体に提供しても2200円/月。会計を考慮し適切な費用助成（1回300円前後）を行う。

4) 海老名災ボラのホームページの更新の件

2018年11月24日以後～更新が出来ていないので、広報班（野中、館、鷲見）で調整中。更新できる人を増やすために、現在のホームページとメーリングリストを利用しているレンタルサーバー「ロリポップ」を使って、ホームページ作成ソフトWordPressを複数の広報班員がインストールして更新する。
現在、広報班長の野中義彦さんが病気療養中なので、退院してから再度調整する。

5) 3月21日（日）10時～12時：海老名災ボラ定例会をZoomで開催予定

第1回総会議案書の討論、役割分担の確定、資料は2020年度総会資料を使う。会計・会計監査は4月

6) 2021年度（令和3年度）海老名災ボラ定期総会：2021年4月～5月

定期総会は、新型コロナ感染症拡大が沈静化している状況であれば、感染防止対策を徹底したうえで、会場を借りて開催する。無理な状況であれば、2020年度と同様に「書面議決方式」で開催する。以上